

環境対応型皮膜剤

No.ZRシリーズ

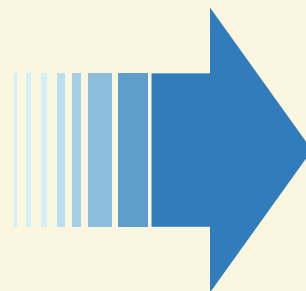


株式会社ケミコート

ZRシリーズ 特徴

リン酸亜鉛皮膜剤と比較して

1. リン(P)非含有
2. 亜鉛(Zn)、ニッケル(Ni)等PRTR
該当物質非含有
3. スラッジの大幅減
4. 薬品の消費減少（3～5割）
5. 表面処理工程が不要



排水処理が容易

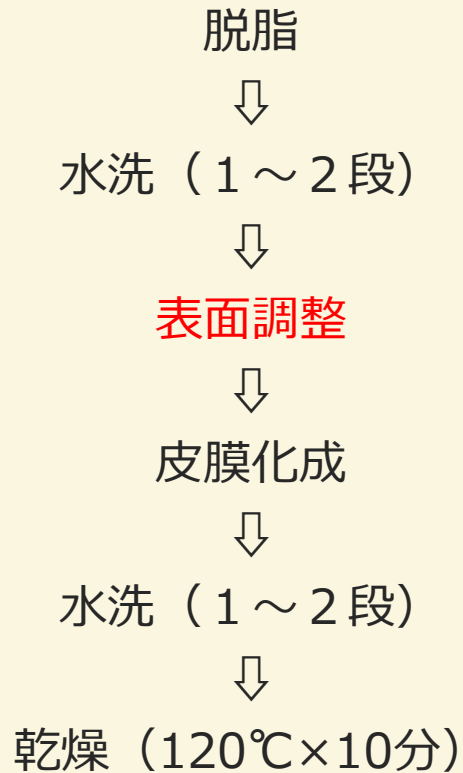
産廃コスト減

工程短縮が可能

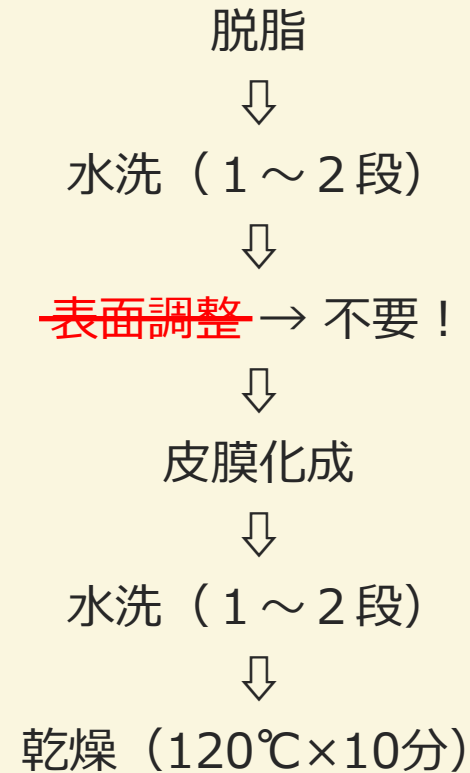
リン酸亜鉛皮膜と同等の耐食性

ZRシリーズ 処理工程

リン酸亜鉛皮膜処理工程



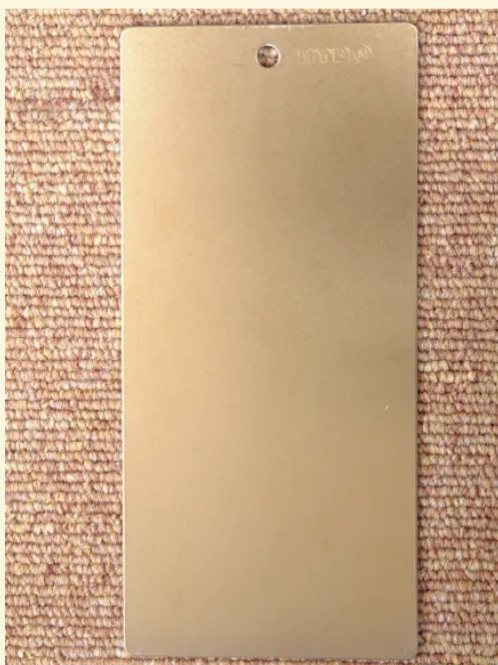
ZRシリーズの処理工程



表面調整が不要であり、工程短縮が可能！

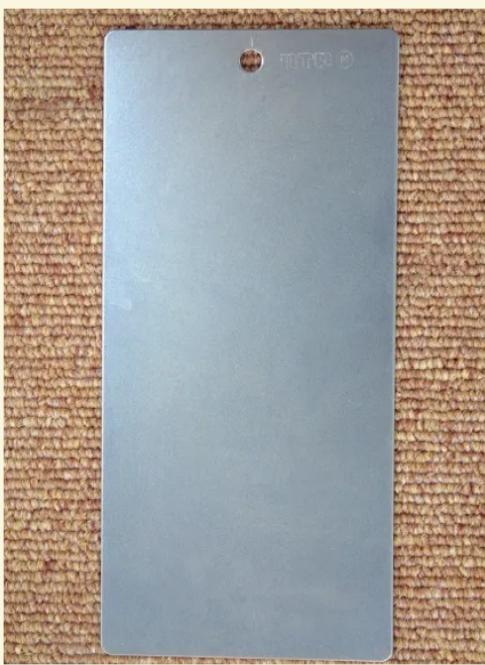
ZRシリーズ 化成状態

ZRシリーズ



非結晶(黄金色)

リン酸鉄皮膜



非結晶(青色)

リン酸亜鉛皮膜



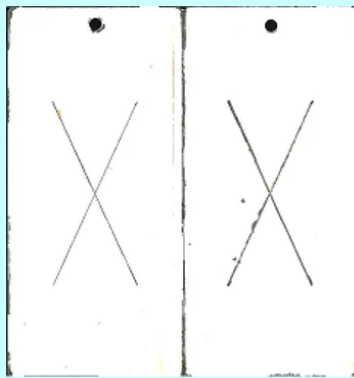
結晶(灰色)

ZRシリーズ 耐食性比較 I

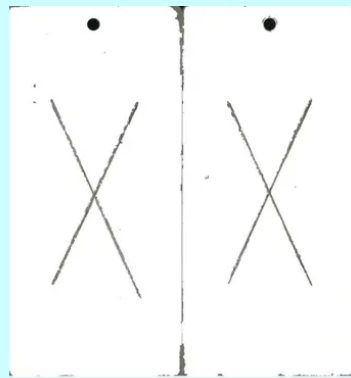
塗装：メラミン塗装（膜厚20～30 μ m）

焼付条件：120℃×30分

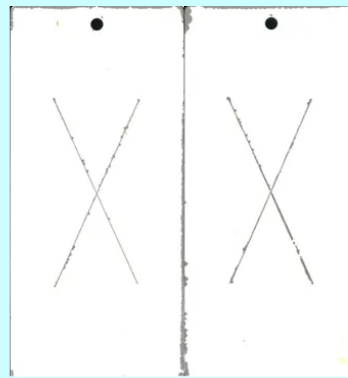
耐食性試験方法：温塩水浸漬試験72時間



ZRシリーズ
（新液）
テープ剥離幅：
0. 5mm以下



ZRシリーズ
（18 m^3 /L処理後）
テープ剥離幅：
0. 5mm以下



リン酸亜鉛皮膜剤
（耐食性比較用）
テープ剥離幅：
0. 5mm以下



リン酸鉄皮膜剤
（耐食性比較用）
テープ剥離幅：
テープ幅（18mm）

ZRシリーズ 耐食性比較Ⅱ

塗装：メラミン塗装（膜厚20～30 μ m）

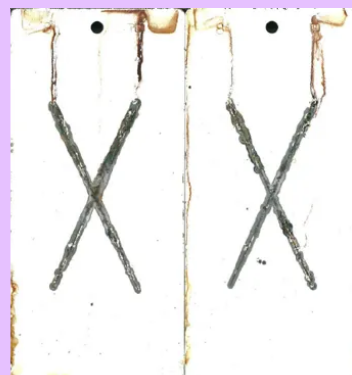
焼付条件：120℃×30分

耐食性試験方法：塩水噴霧試験240時間

（JIS Z 2371）



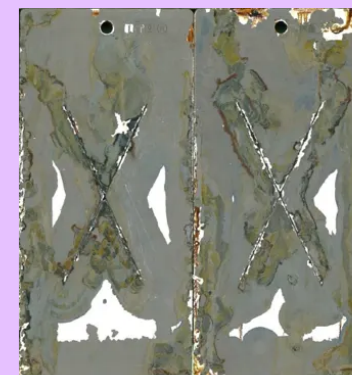
ZRシリーズ
（新液）
テープ剥離幅：
5～6mm



ZRシリーズ
（18m²/L処理後）
テープ剥離幅：
4～6mm



リン酸亜鉛皮膜剤
（耐食性比較用）
テープ剥離幅：
2～12mm



リン酸鉄皮膜剤
（耐食性比較用）
テープ剥離幅：
テープ幅（18mm）

ZRシリーズ 耐食性比較Ⅲ

塗装：カチオン電着塗装（膜厚20～30μm）

焼付条件：200℃×30分

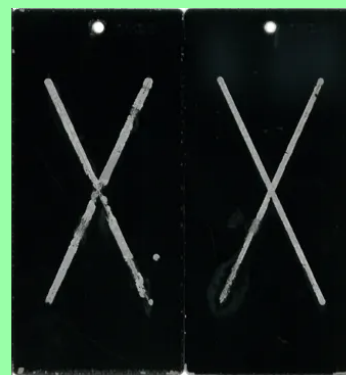
耐食性試験方法：温塩水浸漬試験480時間



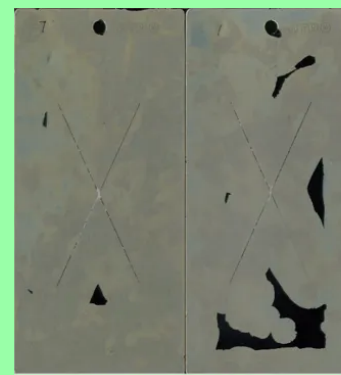
ZRシリーズ
（新液）
テープ剥離幅：
1～3mm



ZRシリーズ
（18m²/L処理後）
テープ剥離幅：
1～3mm



リン酸亜鉛皮膜剤
（耐食性比較用）
テープ剥離幅：
3～5mm



リン酸鉄皮膜剤
（耐食性比較用）
テープ剥離幅：
テープ幅（18mm）

ZRシリーズ 耐食性比較IV

塗装：カチオン電着塗装（膜厚13～17 μ m）

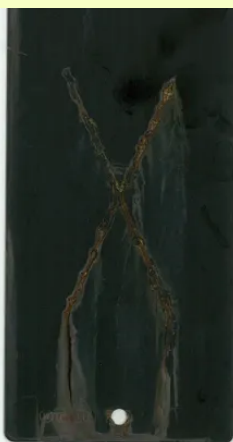
焼付条件：220℃×30分

耐食性試験方法：塩水噴霧試験672時間

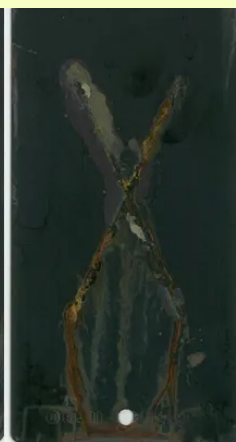
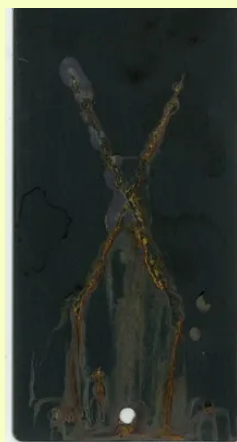
（JIS Z 2371）



ZRシリーズ
（新液）
テープ剥離幅：



リン酸亜鉛皮膜剤
（耐食性比較用）
テープ剥離幅：



リン酸鉄皮膜剤
（耐食性比較用）
テープ剥離幅：

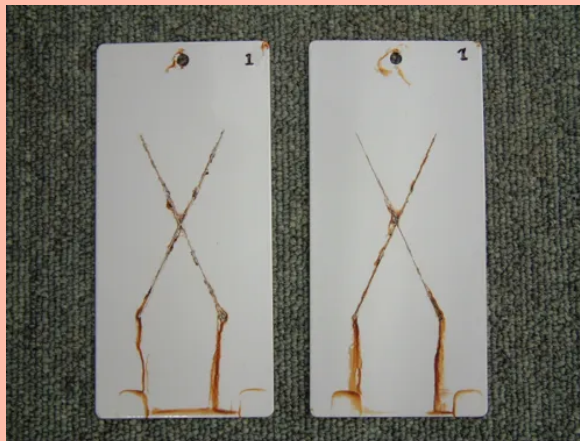
ZRシリーズ 耐食性比較 V

塗装：ポリエステル粉体塗装（膜厚60～70μm）

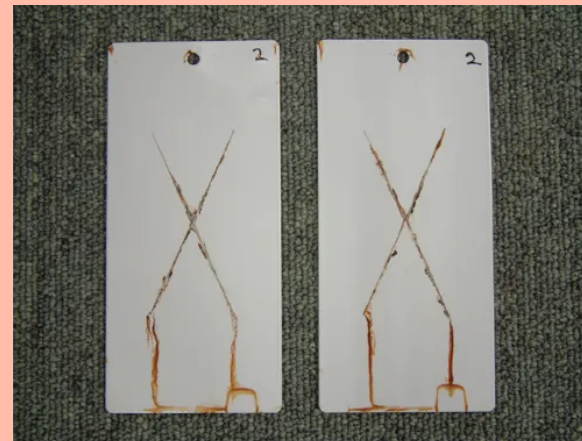
焼付条件：220℃×20分

耐食性試験方法：塩水噴霧試験480時間

（JIS Z 2371）

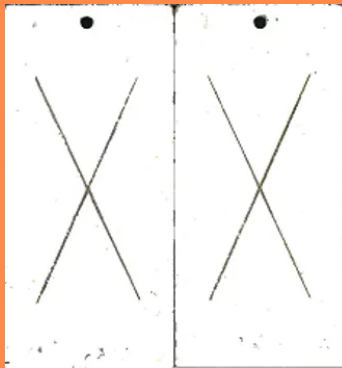


ZRシリーズ
（新液）
テープ剥離幅：
0.5～1.5mm

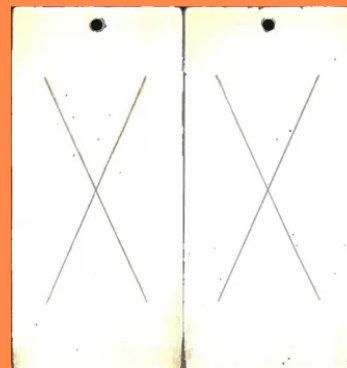


リン酸亜鉛皮膜剤
（耐食性比較用）
テープ剥離幅：
0.5～1.5mm

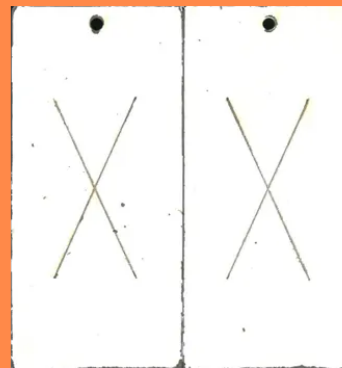
ZRシリーズ ランニングテスト



スタート時
テープ剥離幅：
0.5mm以下



9m²/L処理時
テープ剥離幅：
0.5mm以下



18m²/L処理時
テープ剥離幅：
0.5mm以下

薬剤消費量：12～16 g/m²
ランニング安定性も良好です。

ランニング方法

- 管理方法通りに使用
- ポイント減少分は補給剤で補給

塗装：メラミン塗装（膜厚20～30μm）

焼付け条件：120℃×30分

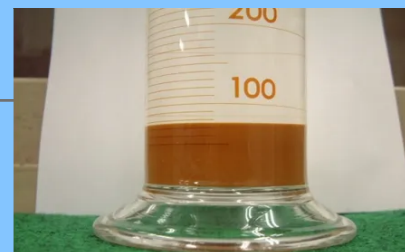
耐食性試験方法：温塩水試験72時間（JIS Z 2371）

ZRシリーズ ランニングテスト

・ランニング液スラッジ量比較

ケミコートNo.	Z Rシリーズ	比較データ
		5700M（リン酸亜鉛皮膜剤）
含水スラッジ量 (処理18㎡当たり)	93mL	369mL ※5700M技術資料より
乾燥重量 (処理18㎡当たり)	3.2g	

リン酸亜鉛皮膜剤と比較して
スラッジ量約75%減



ZRシリーズ スラッジ状態

処理槽内のスラッジ固着がなくなりメンテナンスが容易。

さらに、作業時間短縮、全更新の頻度低減

ZRシリーズ 使用方法

【建浴方法】

ケミコートNo.	建浴量（1000Lにつき）	建浴順
ZRシリーズ（建浴剤）	20～50kg	1
31（中和剤）	4～11kg	2

【管理方法】

液濃度管理

基準ポイント：6～16pt

測定方法：加工液50ccをコニカルビーカーにサンプリングし、
指示薬にPPを用い、0.1 N-苛性ソーダで滴定

pH管理

基準pH：4.0～5.5

測定方法：pHメーター（フッ素対応）を使用し測定